高効率ガス給湯器（潜熱回収型）

取扱説明書 保証書付

品　名	機器コード
NR-S524RFW	11-049-22-09221
NR-S520RFW	11-049-22-09222

もくじ

このたびは高効率ガス給湯器をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

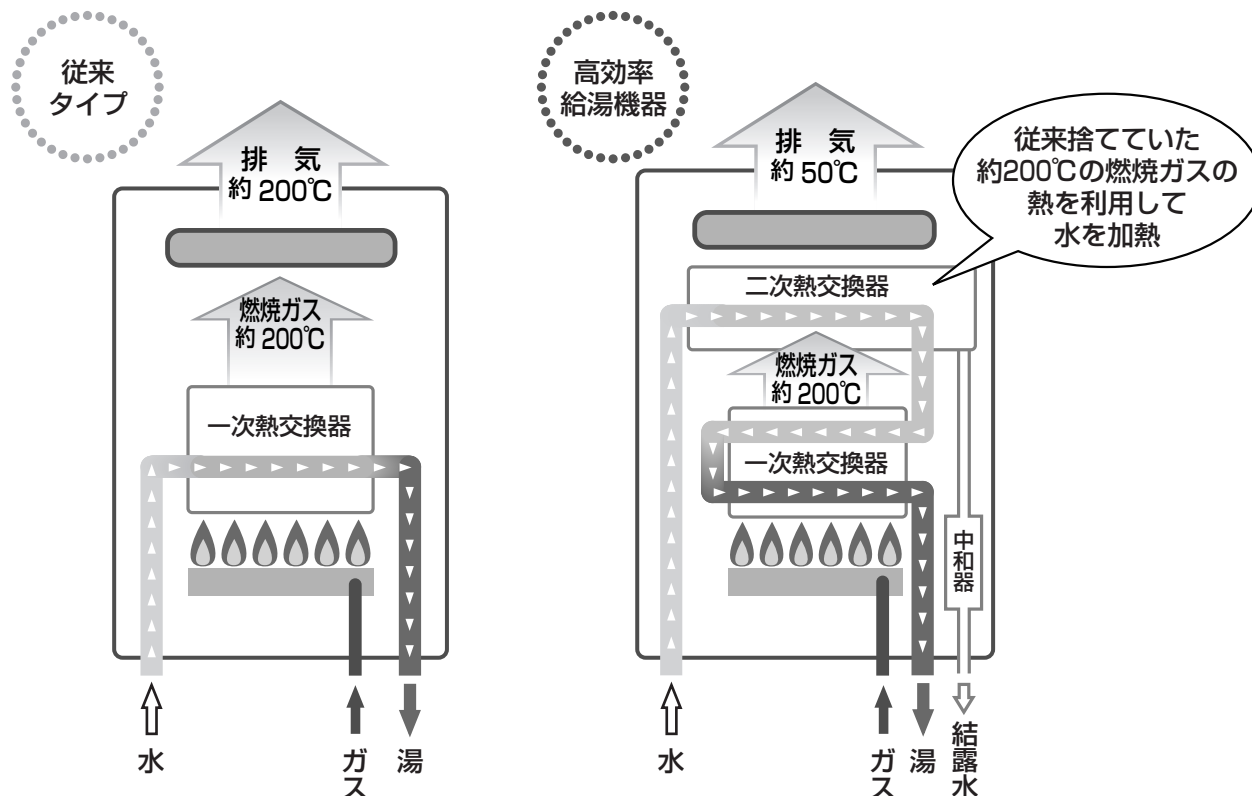
＊この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。
　なお、別売品の取扱説明書がある場合は、必ずそちらも併せてお読みください。

＊保証書（裏表紙）は必ずお買い上げ日・販売店名などの記入を確かめてください。

＊この取扱説明書（保証書付）はいつでもご覧になれるところに保管してください。

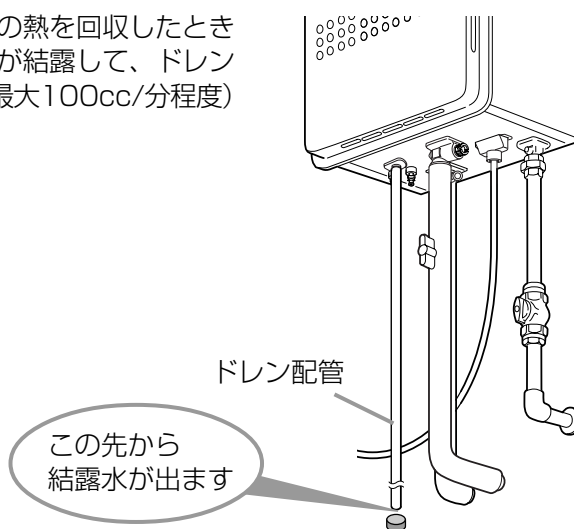
SBA8233

高効率給湯機器のしくみ

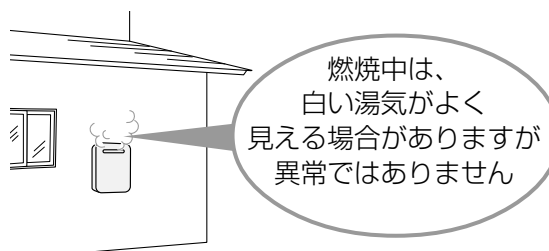
一次熱交換器であたためたときに、燃焼ガスが出ます。
高効率給湯機器では、従来捨てていた燃焼ガスに含まれる熱を二次熱交換器で回収し、その熱を利用して水を加熱します。

高効率給湯機器では結露水が出ます

二次熱交換器で燃焼ガスの熱を回収したとき燃焼ガスに含まれる水分が結露して、ドレン配管から排出されます。(最大100cc/分程度)
水漏れではありません。

ドレン配管

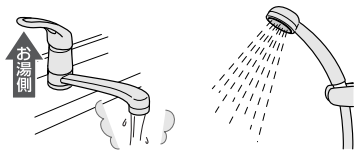
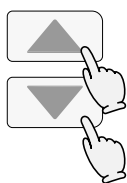
この先から結露水が出ます

高効率給湯機器では白い湯気が出やすくなります

二次熱交換器で熱を回収された燃焼ガスは、熱を奪われるため温度が低く、また多くの水分を含んでいます。このため、外気に触れると結露し、白い湯気に見えます。

燃焼中は、白い湯気がよく見える場合がありますが異常ではありません

こんなことができます

リモコンがある場合

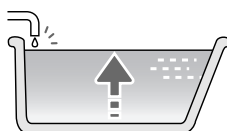
お湯を出す

P17

お湯の温度をお好みの温度に設定して使用できます（☞P18）

おふろにお湯はりをする

P20

温度･湯量を設定して

給湯栓を開ける

設定した湯量がたまったら
機器がお湯を自動的にストップ

メロディと音声でお知らせ

給湯栓を閉める

リモコンがない場合

お湯を出す

P30

お湯の温度は混合水栓で調節します

必ずお守りください(安全上の注意)-1

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

⚠危険

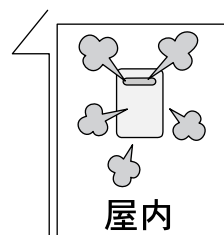
ガス漏れに気づいたときは、

1. **すぐに使用をやめる**
2. **ガス栓を閉める**
   また、メーターのガス栓も閉める
3. **販売店または、もよりの東京ガスに連絡する**

ガス漏れ時は、絶対に

- **火をつけない**
- **電気器具のスイッチの入・切をしない**
- **電源プラグの抜き差しをしない**
- **周辺の電話も使用しない**

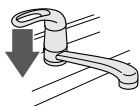
火や火花で引火し、
火災の原因になります。

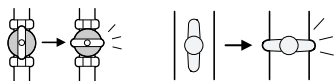
屋内に設置しない

一酸化炭素中毒の原因になります。

⚠警告

必ず
おこなう

地震、火災などの緊急の場合は、次の手順に従う

1．給湯栓を閉める

2．【リモコンがある場合】
運転スイッチを「切」にする

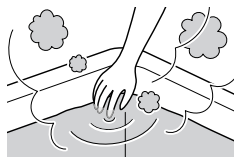
3．ガス栓・給水元栓を閉める

点火しない場合または、使用中に異常な臭気、異常音、異常な温度を感じた場合や、使用途中で消火する場合は、ただちに使用を中止しガス栓を閉める

使用中に異常があった場合は、「故障・異常かな？と思ったら」（☞P36～39）に従い処置をする

上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止し、販売店に連絡する

高温注意

浴槽の湯温を手で確認してから入浴する

やけど予防のため。

【リモコンがある場合】

シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する

60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。
やけど予防のため。

【リモコンがない場合】

シャワーなどお湯の使用時は、手で湯温を確認してから使用する

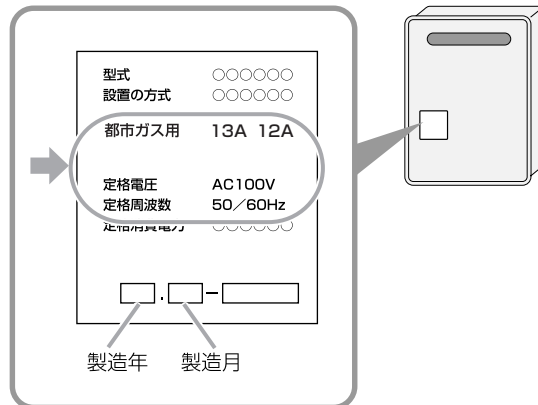
やけど予防のため。

禁止

子供を浴室内で遊ばせない
子供だけで入浴させない

思わぬ事故の原因になります。

必ず
おこなう

必ず銘板に表示のガス・電源で使用する

表示のガス種および電源が一致しないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。
特に転居した場合は、必ずガスの種類（電源の種類）が一致しているかどうか確認してください。
わからない場合は、販売店または、もよりの東京ガスに連絡してください。

禁止

【リモコンがある場合】

シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転スイッチ「切」にしない、リモコンの「優先」を切り替えない

高温に変更されたときのやけど予防のため。
また、低温に変更されたり運転スイッチ「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

必ず
おこなう

ガス配管接続工事には専門の資格、技術が必要なため、機器の設置・移動・取り外しおよび付帯工事は、販売店または、もよりの東京ガスに依頼する

安全に使用していただくため。

分解禁止

お客さまご自身では絶対に分解したり、修理・改造はおこなわない

思わぬ事故や故障の原因になります。

禁止

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベを、機器本体や排気口のまわりに置かない、使用しない

熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

（つづく）

必ずお守りください(安全上の注意)-2

(つづき)

⚠警告

ぬれ手禁止

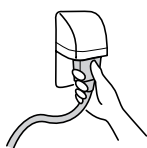
感電注意

電源プラグはぬれた手でさわらない

感電の原因になります。

必ずおこなう

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不充分だと、感電や火災の原因になります。

必ずおこなう

電源プラグのホコリは定期的に取る

ホコリがたまると、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

禁止

電源コード、電源プラグの破損・加工をしない

束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を載せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工をしない。

感電、ショート、火災の原因になります。

禁止

灯油、ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器本体や排気口のまわりで使用しない

火災の原因になります。

禁止

機器本体やガスの配管、排気口などに乗ったりして、無理な力を加えない

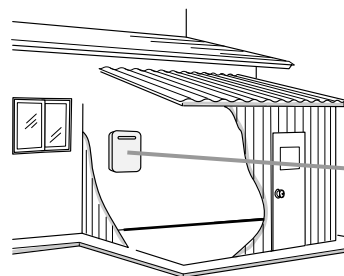
ケガや、機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

禁止

太陽熱温水器とは絶対に接続しない

お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機器の故障の原因になります。

禁止

増改築などで屋内状態にしない(波板囲いなどをしない)

一酸化炭素中毒・火災の原因になります。

禁止

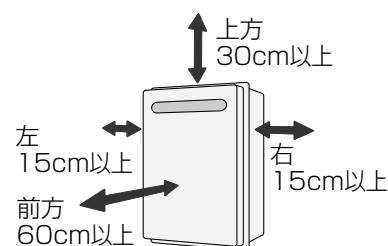
燃えやすい物をまわりに置かない(洗濯物、新聞紙、灯油など)

火災の原因になります。

必ずおこなう

燃えやすい物とは離す(樹木、木材、箱など)

火災予防のため。

禁止

外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時などに機器本体(排気口)が養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない

不完全燃焼や一酸化炭素中毒、爆発着火の原因になります。

⚠注意

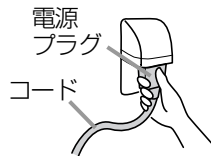
アースする

必ずアースする

機器が故障した場合、感電の原因になります。アースがされていない場合は、販売店または、もよりの東京ガスにご相談ください。

必ずおこなう

電源プラグは、コードを持たずに電源プラグを持って抜く

コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。

必ずおこなう

機器の点検・お手入れや、機器の水抜きをする場合は、運転スイッチ「切」または、電源プラグを抜いて、機器が冷えてからおこなう

やけど予防のため。
お湯の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。

【リモコンがある場合】

リモコンには磁石を使用しています

磁石の力は非常に微弱ですが、ペースメーカーなど医療機器を使用している方は、医師とご相談のうえ使用してください。

必ずおこなう

機器の給気口がホコリ・ゴミなどでふさがっていないか確認する

不完全燃焼の原因になります。

接触禁止

使用中や使用後しばらくは、排気口付近に触れない

やけど予防のため。

禁止

給湯、シャワー、お湯はり以外の用途には使用しない

思わぬ事故を予防するため。

乾電池に関する注意(取り替え機器についてのお願い)

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。
もしお客さまで旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

禁止

子供を機器の周囲、直下で遊ばせない

思わぬ事故の原因になります。

禁止

ドレン配管から排出される結露水を、飲料用・飼育用などに使用しない

必ずおこなう

【配管カバーまたは据置台がある場合】
配管カバーまたは据置台のフロントカバーを外した場合は、作業終了後、必ずフロントカバーを元どおり正しく取り付ける
(☞P11)

お願い

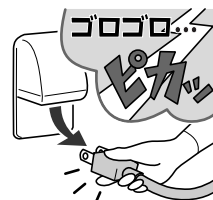
電源プラグを抜く

ぬれ手禁止

感電注意

雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグを電源コンセントから抜く(またはブレーカーを落とす)

雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
雷がやんだあとは電源プラグを電源コンセントに差し込み、時計を合わせてください。

※冬期は、電源プラグを長時間抜くと凍結のおそれがあります。
※落雷被害に有効な火災保険へのご加入をおすすめします。

ゴロゴロ…
ピカッ
ぬれた手でさわらない
(感電のおそれがあります)

【リモコンがある場合】

台所リモコンは0℃～40℃の室温で、浴室リモコンは0℃～50℃の室温で使用する

故障の原因になります。

浴室リモコンを設置している浴室で、ドライサウナを使用しない

ミストサウナを使用される場合も、50℃以下の室温でご使用ください。

リモコンを分解しない

故障や、思わぬ事故の原因になります。

リモコンの掃除には、塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤などを使用しない

変形する場合があります。

台所リモコン・増設リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない

炊飯器、電気ポットなどに注意。
故障の原因になります。

浴室リモコン・防水型増設リモコンに故意に水をかけない

防水型ですが、多量の水は故障の原因になります。

浴室リモコン・防水型増設リモコンに、シャンプー・リンス・入浴剤などを故意にかけない

変色などの原因になります。

リモコンを子供がいたずらしないよう注意する

機器のまわりはきれいにしておく

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然としていると、機器の内部にゴキブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

【リモコンがある場合】

運転スイッチ「切」時にはお湯側から水を出さない

お湯を出すときには、運転スイッチ「入」を確認してください。
運転スイッチ「切」時にお湯側から長時間水を出すと熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因になったり、電気部品の損傷の原因になる場合があります。
シングルレバー式混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

長期間使用しない場合、必要な処置をする (☞P33)

凍結および万が一のガス漏れを防止するため。

温泉水、井戸水、地下水で使わない

水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。
この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない

雑用水として使用してください。

断水時は運転を停止し、給湯栓を閉める

給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。

断水復帰後の使い始めのお湯は飲まない、調理に使用しない

断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管にとどまることがあります。

断水復帰後は、給湯栓から充分水を流してから使用する

この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

停電後や、長期不在などで電源プラグを抜いたあとは、現在時刻を確認する

時計がリセットする場合があります。

停電すると、運転が停止します

排気ガスが直接建物の外壁・窓・アルミサッシなどや、物置などの塗装品などに当たらないように設置する
増改築時も同様に注意する

ガラスが割れたり、変色したり、塗装がはがれたりする原因になります。

塀などを増設する場合は、機器の点検・修理に必要な空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する

塀などと機器との間に充分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。
また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。
（機器の修理・点検に必要な空間については、販売店または、もよりの東京ガスに確認してください）

積雪時には給気口・排気口の点検、除雪をする

雪により給気口・排気口がふさがれると不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

業務用の用途では使用しない

この製品は家庭用ですので、業務用の用途で使用すると製品の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

使用時の点火、使用後の消火を確認する

ガス事故防止のため。

浴槽、洗面台はこまめに掃除する

湯あかが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

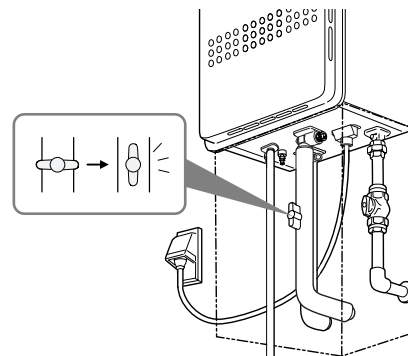
凍結による破損を予防する（☞P31～33）

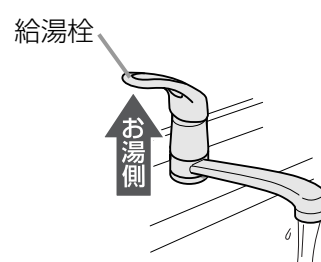
暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な処置をしてください。
凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

初めてお使いになるときは

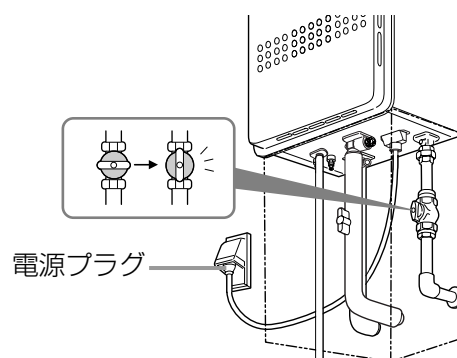
初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1

給水元栓をゆっくり開け、すべての水抜き栓から水漏れがないか確認してから、給水元栓を全開にする
（水抜き栓の位置☞P33）

2

給湯栓を開けて水が出ることを確認し、再度閉める

3

ガス栓を全開にし、電源プラグが電源コンセントに差し込まれていることを確認する

電源プラグはぬれた手でさわらない

各部のなまえとはたらき（機器本体）

イラストは施工例です。配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。

排気口
燃焼した排気ガスを出します。

給気口
燃焼用の空気を吸い込みます。

水抜き栓（フィルター付き）
（☞P35）

給水元栓

電源コンセント

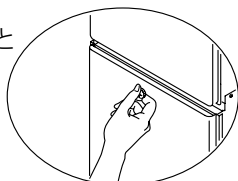
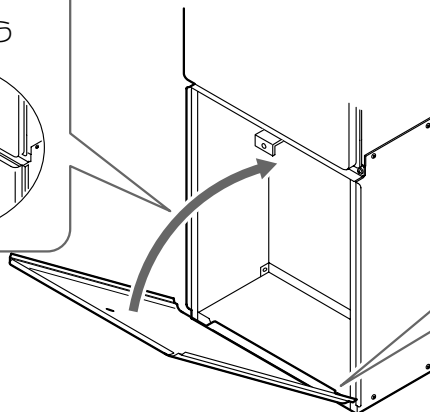
電源プラグ

ガス栓

配管カバーまたは据置台

ドレン配管
結露水を排水します。

● 配管カバーまたは据置台を設置している場合 ●

フロントカバーを外したあとは、正しく取り付けてください。

各部のなまえとはたらき（リモコン）-1

台所リモコン（NR-RK505A）<別売品>

台所などに付いているリモコンです。
スイッチを押すと操作音が鳴り、操作の内容を音声でお知らせします。音量を変更したり、音声ガイドをやめたりすることもできます。（☞P24〜25）

表示画面
（☞次ページ）

設定スイッチ
ふろ温度・お湯はり湯量の設定や時計合わせなど、各種設定をするときに、まずこのスイッチを押してください。

スピーカー

運転スイッチ
運転の入･切に。

選択スイッチ
お湯の温度の設定に。（☞P18）
その他、ふろ温度・お湯はり湯量の設定や時計合わせなど、各種設定をするときに。

お湯はりスイッチ・ランプ
おふろのお湯はりをするときに。（☞P20〜21）

＊その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

● 表示画面 ●

下記の表示画面は説明用です。実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。

● 表示の節電(詳しくは☞P27) ●

リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分(オートストップ機能(☞P20〜21)でお湯はりをした場合、浴室リモコンでは約1時間)たつと画面表示が消えます。このしくみを「表示の節電」といいます。運転ランプのみ点灯して運転スイッチ「入」であることをお知らせします。

※表示の節電をしないように変更することもできます。(☞P24〜25)
　表示の節電をしない場合は、画面の焼付を防止するため、機器を使用しないまま約10分(オートストップ機能(☞P20〜21)でお湯はりをした場合、浴室リモコンでは約1時間)たつと画面の状態が変わります。(表示が横にスクロールします)

各部のなまえとはたらき（リモコン）-2

浴室リモコン（NR-RB505A）＜別売品＞

浴室に付いているリモコンです。
スイッチを押すと操作音が鳴り、操作の内容を音声でお知らせします。音量を変更したり、音声ガイドをやめたりすることもできます。（☞P24～25）

選択スイッチ
お湯の温度の設定に。（☞P18）
その他、お湯はり温度・お湯はり湯量の設定など、各種設定をするときに。

運転スイッチ
運転の入·切に。

表示画面
（☞次ページ）

スピーカー

運転
入/切
設 定
呼 出
優 先
お湯はり

設定スイッチ
ふろ温度・お湯はり湯量の設定など、各種設定をするときに、まずこのスイッチを押してください。

お湯はりスイッチ・ランプ
おふろのお湯はりをするときに。（☞P20～21）

呼出スイッチ・ランプ
浴室から台所を呼び出したいときに。（☞P26）

優先スイッチ・ランプ
選択スイッチを押しても給湯温度が変更できない場合、このスイッチを押してください。（☞P19）

＊その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

● 表示画面 ●

下記の表示画面は説明用です。実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。

● 表示の節電（詳しくは☞P27） ●

リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分（オートストップ機能（☞P20〜21）でお湯はりをした場合、浴室リモコンでは約1時間）たつと画面表示が消えます。このしくみを「表示の節電」といいます。運転ランプのみ点灯して運転スイッチ「入」であることをお知らせします。

※表示の節電をしないように変更することもできます。（☞P24〜25）
表示の節電をしない場合は、画面の焼付を防止するため、機器を使用しないまま約10分（オートストップ機能（☞P20〜21）でお湯はりをした場合、浴室リモコンでは約1時間）たつと画面の状態が変わります。（表示が横にスクロールします）

台所リモコンで時計を合わせる

【台所リモコン】

	操作	操作後の画面	お知らせ
1	運転 入/切 を「入」にする	0:00 給湯 40℃ 40℃	
2	設定 を何回か押して バー表示を「時計」の位置にする	ここ → 給湯 おふろ 湯量 時計 時計合わせ PM 0:00	
3	▲ ▼ で時計を合わせる	給湯 おふろ 湯量 時計 時計合わせ AM10:00	＊一度押すごとに1分ずつ、押し続けると10分ずつ変わります。
4	設定 を押す 【設定完了】	ここのみ点滅 給湯 おふろ 湯量 時計 10:00 給湯 40℃ 40℃	＊約20秒そのままにしても、設定完了します。

＊停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電し、運転スイッチ「入」にすると時計表示が「0：00」になりますので、時計を合わせ直してください。
＊時計合わせをしていない場合、浴室リモコンでは時計表示のかわりに「ふろ」を表示します。

お湯を出す

【台所リモコン】

【浴室リモコン】

★ここでは台所リモコンで説明します★

操作	操作後の画面	お知らせ
1 運 転 入/切 を「入」にする	10:15 給湯 40℃ 40℃ (確認)	＊現在の給湯温度を表示します。
2 給湯栓を開ける または シャワーを出す	10:15 給湯 40℃ 40℃ (燃焼中点灯)	

● お湯を止めたいとき

給湯栓を閉める
または シャワーを止める

⚠警告		シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する	⚠警告		シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転スイッチ「切」にしない、リモコンの「優先」を切り替えない
60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。 やけど予防のため。			高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチ「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。		

リモコンがある場合

お湯の温度を調節する

【台所リモコン】

【浴室リモコン】

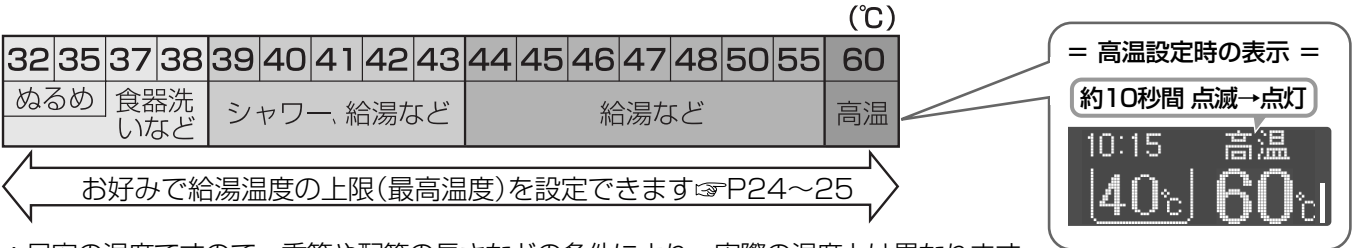
★ここでは台所リモコンで説明します★

	操作	操作後の画面	お知らせ
1	運転 入/切 を「入」にする	点灯確認 10:15 給湯 40℃ 40℃	＊現在の給湯温度を表示します。
2	▲▼ でお好みの温度に調節する	給湯 おふろ 湯量 時計 10:15 給湯 40℃ 41℃ （例：41℃） ここ	＊操作しているリモコンに優先がない場合に ▲▼ を押すと、音声でお知らせします。

● お湯の温度の目安 ●

（℃）

32	35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	50	55	60
ぬるめ		食器洗いなど		シャワー、給湯など					給湯など							高温

お好みで給湯温度の上限（最高温度）を設定できます☞P24～25

＊目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。
＊低い給湯温度（ぬるめ・食器洗いなど）に設定した場合、水温が高いとその温度にならないことがあります。
＊表示の温度をよく確かめてから使用してください。高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。
＊サーモスタット付混合水栓の場合は、リモコンの給湯温度をご希望の温度より約10℃高く設定すると、ちょうどよくなります。

⚠警告 **シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転スイッチ「切」にしない、リモコンの「優先」を切り替えない**

高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチ「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

お湯の温度を調節できないときは<優先>

【浴室リモコン】

【台所リモコン】

操作	操作後の画面	お知らせ

● 浴室リモコンで温度調節ができないとき

操作	操作後の画面	お知らせ
優先 を「入」にする	点灯	＊ 優先 ランプ点灯。

● 台所リモコンで温度調節ができないとき

操作	操作後の画面	お知らせ
運転 入/切 をいったん「切」にし、再度「入」にして選択バー表示を点灯させる	点灯	＊運転が停止するため、ご注意ください。 ＊運転を停止させたくない場合は、浴室リモコンの 優先 で切り替えてください。

「優先」とは

台所、洗面所、シャワーなど、機器からお湯を供給しているところには、同じ温度のお湯が出ます。
そのため、お湯を使っているときに他の人が給湯温度を変えてしまうと、出ているお湯の温度が変わり、使っている人がやけどをしたり、急に冷たくなって驚く原因になります。
このような事故などを防ぐために、リモコンが複数ある場合は一つのリモコンでしか給湯温度が変えられないようになっています。
給湯温度を調節できることを「優先」と呼び、給湯温度を調節できるリモコンには給湯表示の横に選択バー表示が点灯します。

■運転スイッチを「入」にしたリモコンが優先になります。

■浴室リモコンの 優先 で、リモコンの優先を切り替えることができます。

リモコンがある場合

おふろにお湯はりをする<オートストップ>

お湯はりスイッチを押してから給湯栓を開けると、設定したお湯はり湯量になったときに、リモコンのお湯はりメロディが鳴ってお湯が自動的に止まります。
（給湯栓は開いたままなので、必ず閉めてください）

【台所リモコン】

【浴室リモコン】

★ここでは台所リモコンで説明します★

	操作	操作後の画面	お知らせ
準備	①排水栓を閉める ②ふたをする ※お湯が入る部分は開けておく ③リモコンの音量の設定(☞P24～25)が「なし」以外であることを確認する		＊リモコンの音量を「なし」に設定するとお湯はりメロディは鳴りません。
1	運転 入/切 を「入」にする	7:00 給湯 40℃ 40℃ ふろ温度確認	＊お湯はり湯量を確認し、(☞P23)必要があれば調節してください。 ＊ふろ温度の調節(☞P22)
2	お湯はり を「入」にする	給湯栓を あけて下さい （約3秒間表示） ▼ ふろ温度 40℃	＊ お湯はり ランプ点灯→約10秒後点滅。
3	給湯栓を開ける 【お湯はり開始】	ふろ温度 40℃ 燃焼中点灯	**＊サーモ付混合水栓の場合は、水栓側の温度設定を最も高温にしてください。** 最高温度側に 中間の位置で使用すると、水が混ざるため浴槽からお湯があふれたり、ぬるくなる場合があります。 ＊お湯はり完了に近づくと、音声でお知らせします。

操作	操作後の画面	お知らせ

4

設定した量が入ると
お湯はりメロディと
音声が鳴り、
お湯が止まるので・・・

＊ お湯はり ランプ点灯。
＊設定した湯量程度のお湯が入ったのに、お湯はりメロディが鳴らないのはなぜ？（☞P38）

給湯栓を閉める

＊給湯栓を閉めなかった場合、お湯はりメロディが鳴ってから10分間、給湯栓から少量の水が出たり止まったりします。給湯栓を閉めると水は止まります。
＊下記の表示が出た場合は、「お湯はりの設定を解除しました」とお知らせするまで（約20秒）、給湯栓を開けないでください。

他の給湯栓でお湯を使っている場合は、
その給湯栓もいったん閉める

【お湯はり完了】

＊ お湯はり ランプが消灯するまで、給湯栓を開けないでください。

お湯が止まっても給湯栓は開いたままなので、必ず閉めてください。（閉めないと給湯が使えません）

給湯栓を閉めないまま30秒以上たつと	給湯栓を閉めないまま10分以上たつと	給湯栓を閉めないまま運転スイッチ「切」にすると
全ての給湯栓をしめて下さい	全ての給湯栓をしめて下さい 交互に表示 お湯はりスイッチを押して下さい	全ての給湯栓をしめて下さい 交互に表示 運転スイッチを押して下さい
給湯栓を閉めるとお湯が使えます。（お湯はりランプ消灯）	給湯栓を閉め、お湯はりスイッチ「切」にするとお湯が使えます。（お湯はりランプ消灯）	給湯栓を閉め、お湯はりスイッチ「切」にし、運転スイッチ「入」にするとお湯が使えます。（お湯はりランプ消灯）

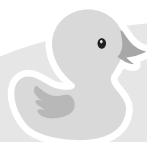
● 給湯栓を開ける前にお湯はりをやめたいとき

 を「切」にする

＊ お湯はり ランプ消灯。

● 給湯栓を開けたあとお湯はりをやめたいとき

給湯栓を閉めてから を押す

＊「お湯はりの設定を解除しました」とお知らせするまで（約20秒）、給湯栓を開けないでください。
＊ お湯はり ランプ消灯。

＊お湯はり中に、台所やシャワーでお湯を使うと、お湯はり温度のお湯が出ます。
＊お湯はりスイッチを押さずに給湯栓を開けてもお湯はりできますが、お湯は自動的に止まりません。また、お湯はりメロディと音声でのお知らせもしません。この場合、給湯温度のお湯でお湯はりするため、給湯温度を高温に設定している場合は注意してください。（やけど予防のため）

リモコンがある場合

ふろ温度を調節する

【台所リモコン】

【浴室リモコン】

★ここでは台所リモコンで説明します★

操作	操作後の画面	お知らせ
1 運転 入/切 を「入」にする	7:00 給湯 40℃ 40℃	
2 設定 を何回か押して バー表示を「おふろ」の位置にする	ここ 給湯 おふろ 湯量 時計 ふろ温度 40℃	＊【浴室リモコンの場合】 設定 を何回か押して、バー表示を「ふろ温度」の位置にする。 ここ 給湯 ふろ温度 ふろ湯量 ふろ温度 40℃
3 ▲ ▼ でお好みの温度に調節する	給湯 おふろ 湯量 時計 ふろ温度 42℃ （例：42℃）	＊変更した温度は記憶します。
4 設定 を押す 【設定完了】	給湯 おふろ 湯量 時計 7:00 給湯 42℃ 40℃	＊約20秒そのままにしても、設定完了します。

● ふろ温度の目安 ●

（℃）

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ			ふつう				あつめ				

＊目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。

お湯はり湯量を調節する

【台所リモコン】

【浴室リモコン】

★ここでは台所リモコンで説明します★

	操作	操作後の画面	お知らせ
1	運転 入/切 を「入」にする	7:00 給湯 40℃ 40℃	
2	設定 を何回か押して バー表示を「湯量」の位置にする	ここ→ 給湯 おふろ 湯量 時計 お湯はり 湯量 180L	＊【浴室リモコンの場合】 設定 を何回か押して、バー表示を「ふろ湯量」の位置にする。 （ここ→ 給湯 ふろ温度 ふろ湯量 お湯はり 湯量 180L）
3	▲ ▼ でお好みの湯量に調節する	給湯 おふろ 湯量 時計 お湯はり 湯量 200L （例：200L）	＊変更した湯量は記憶します。
4	設定 を押す 【設定完了】	給湯 おふろ 湯量 時計 7:00 給湯 40℃ 40℃	＊約20秒そのままにしても、設定完了します。

● お湯はり湯量を確認したいとき

上記手順1～2と同じ操作で確認できます

＊ 設定 を押すか、約20秒そのままにすると、元の画面に戻ります。

● お湯はり湯量の設定値 ●

(L)

40	60	80	100	120	140	160	180	200	220	240	260	300	350	400

□＝初期設定（工場出荷時）

いろいろな設定を変更する／連絡先を表示さ

設定変更の手順

【台所リモコン】

【浴室リモコン】

★ここでは台所リモコンで説明します★

	操作	操作後の画面	お知らせ
	「給湯温度の上限(最高温度)を変更する」の例で説明します		
1	運転 入/切 を「切」にする		＊運転 入/切 消灯。 ＊台所リモコン・浴室リモコンのどちらかで変更できます。
2	設定 を何回か押して 「給湯最高温度」設定画面にする	給湯 最高温度 60℃	＊現在の設定を表示します。
3	▲ ▼ で設定を変更する	給湯 最高温度 55℃	＊32,35,37～48(1℃きざみ)、50,55,60℃で設定できます。
4	設定 を押す 【設定完了】		＊約20秒そのままにしても、設定完了します。

変更できる設定

P24の手順を参考に、変更してください。

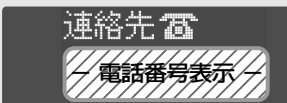
□＝初期設定（工場出荷時）

リモコンの音量を変更する

浴室リモコン・台所リモコン それぞれで設定

音量 中

なし	小	中	大

＊「なし」に設定するとお湯はりメロディは鳴りません。
＊「なし」の設定でも「呼び出し音」（☞P26）は鳴ります。
＊浴室リモコンは、停電後または電源プラグを抜いたあとは、初期設定（工場出荷時）に戻ります。

リモコンの音声ガイド（声でお知らせ）を変更する

浴室リモコン・台所リモコン それぞれで設定

音声ガイド あり なし
（設定している方が点滅します）

あり	声でお知らせします
なし	声でお知らせしません 操作音と声の両方とも鳴らさないようにするには、音量を「なし」に設定してください

＊浴室リモコンは、停電後または電源プラグを抜いたあとは、初期設定（工場出荷時）に戻ります。

リモコンの表示の節電の設定を変更する

浴室リモコン・台所リモコン それぞれで設定

（設定している方が点滅します）

する	表示の節電をします（☞P27）
しない	表示の節電をせず、スクロール表示します（☞P27）

給湯温度の上限（最高温度）を変更する

浴室リモコン・台所リモコン どちらかで設定

給湯最高温度 60℃

32	35	37～48（1℃きざみ）	50	55	60

（単位：℃）

連絡先を表示させる

P24の手順**1**,**2**を参考に、表示させてください。

連絡先電話番号を表示させる

連絡先電話番号が入力されている場合のみ

故障のときなど、サービスを依頼される場合に、この方法でご覧ください。
※連絡先電話番号が入力されていない場合があります。その場合はこの画面にはなりません。

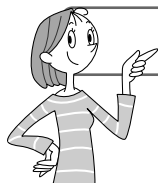
浴室から台所リモコンのチャイムを鳴らす＜呼び出し＞

【浴室リモコン】

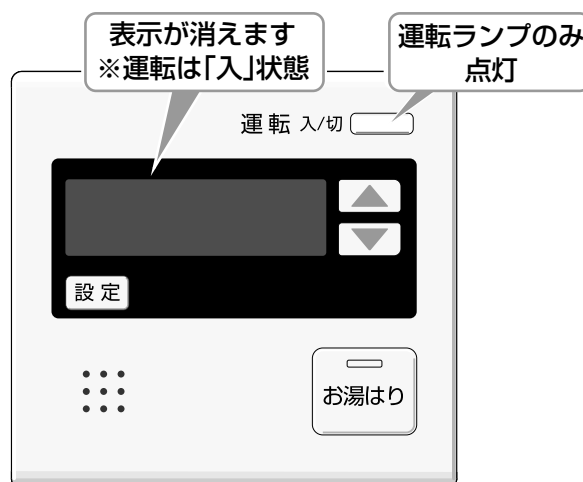
浴室にいるときに、何か必要な物があったり気分が悪くなって人を呼びたいとき、呼出スイッチで知らせることができます。
（インターホンではないので会話はできません）

	操作	操作後の画面	お知らせ
1	呼出 を押す	[呼び出し中]	＊運転（入/切）の「入」「切」に関係なく、呼び出します。 ＊呼出 ランプ点灯→消灯。 ＊チャイムが鳴って呼び出します。 ＊押し続けると、手を離すまでチャイムをくりかえします。

＊リモコンの音量「なし」の設定（☞P25）でも、呼び出し音は鳴ります。

リモコンの表示の節電について

リモコンの無駄な電力消費を防ぎます。(「表示の節電」の設定変更の方法☞P24〜25)

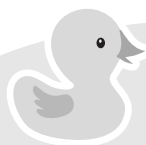
機器を使用しないまま約10分(オートストップ機能(☞P20〜21)でお湯はりをした場合、浴室リモコンでは約1時間)たつと、画面表示が消えて、運転ランプのみ点灯します。

【例：台所リモコン】

● 表示の節電をしない場合(スクロール表示) ●

＊表示の節電を設定していない場合は、画面の焼付防止のため、機器を使用しないまま約10分(オートストップ機能(☞P20〜21)でお湯はりをした場合、浴室リモコンでは約1時間)たつと画面の状態が変わります(スクロール表示)。再使用したり、スイッチを押すと、スクロール表示を解除します。

10:15 給湯
40℃ 40℃

使用しないまま
時間がたつと

横にスクロールします(表示は一例です)

＊再使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
※下記のスイッチは、1回押すだけで表示の節電を解除すると同時に、機能もはたらきます。

お湯はりスイッチ	呼出スイッチ

＊表示の節電中は、時計表示はしません。
＊給湯温度を60℃に設定している場合は、安全のため、表示の節電はしません。

リモコン音声一覧

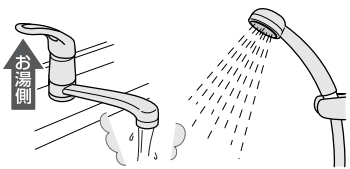
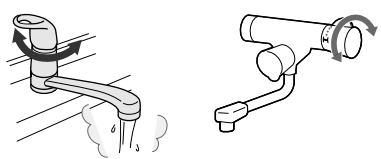
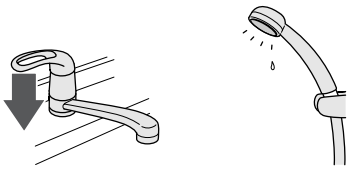
操作の一例を記載しています。

操作	スイッチ	条件など	音声(抜粋)
運転「入」	運転 入/切 「入」	給湯温度55℃以下のとき	♪
		給湯温度60℃のとき	♪ あついお湯が出ます
時計を合わせる <台所リモコン>	設定 を押してバー表示を「時計」の位置にする		♪ 時刻が変更できます
	▲▼ で時刻設定		
	設定 で確定		♪ 設定しました
お湯の温度を調節する	▲▼ で温度調節	給湯温度55℃以下に調節	♪ 給湯温度が○度に変更されました
		給湯温度60℃に調節	♪ あついお湯が出ます 給湯温度が60度に変更されました
		そのリモコンが優先でないとき	♪ (浴室リモコン) 優先スイッチを押してください ♪ (台所リモコン) 浴室優先です
	<浴室リモコン> 優先 「入」		♪ 給湯温度が変更できます
おふろに お湯はりをする (オートストップ)	お湯はり 「入」		♪ おふろの給湯栓を開けてください
		お湯はり完了に近づくと	♪ (ピピピ)もうすぐおふろが沸きます
		お湯はり完了	♪♪♪～ おふろが沸きました 給湯栓を閉めてください
		お湯はり完了後、給湯栓を閉めてからしばらくすると	♪ お湯はりの設定を解除しました
ふろ温度を調節する	<台所リモコン> 設定 を押してバー表示を「おふろ」の位置にする <浴室リモコン> 設定 を押してバー表示を「ふろ温度」の位置にする		♪ おふろの温度が変更できます
	▲▼ でふろ温度調節		
	設定 で確定		♪ おふろの温度を○度に変更しました
お湯はり湯量を調節する	設定 を押してバー表示を「湯量(ふろ湯量)」の位置にする		♪ おふろの湯量が変更できます
	▲▼ でお湯はり湯量調節		
	設定 で確定		♪ おふろの湯量を変更しました
浴室から台所リモコンのチャイムを鳴らす (呼び出し) <浴室リモコン>	呼出 「入」		♪♪♪～ おふろで呼んでいます

初期設定一覧

項目	初期設定
時計表示(未設定時)	0：00
給湯温度	40℃

項目	初期設定
ふろ温度	40℃
お湯はり湯量	180L

● 以下は「いろいろな設定を変更する」(☞P24～25)で変更できる項目です ●

項目	初期設定
音量	中
音声ガイド	あり

項目	初期設定
表示の節電	する
給湯最高温度	60℃

お湯を出す／お湯の温度を調節する

お湯の温度は、約60℃の高温(固定)になります。混合水栓でお湯と水を混合してお使いください。

	操作	お知らせ
準備	電源プラグを電源コンセントに差し込んでいるか確認する しっかりと!	
1	給湯栓を開ける または シャワーを出す お湯側	
2	混合水栓でお湯の温度を調節する	
3	使用後は給湯栓を閉める または シャワーを止める	＊通常電源プラグは差し込んだままで、抜く必要はありません。

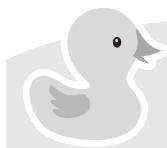
⚠警告		シャワーなどお湯の使用時は、手で湯温を確認してから使用する
やけど予防のため。		

凍結による破損を予防する-1

お願い	凍結による破損を予防する

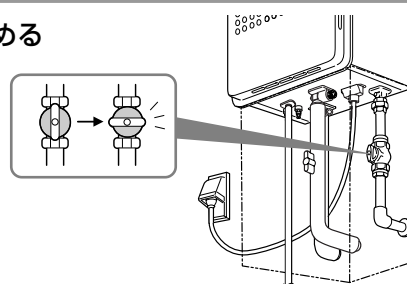
＊暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。
＊凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

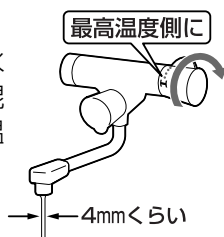
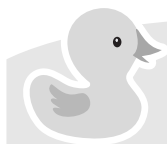
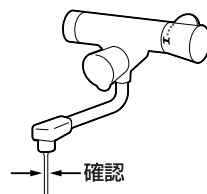
機器内は凍結予防ヒーターで自動的に凍結予防します

■電源プラグを抜くと凍結予防しないため、電源プラグは抜かない

＊(リモコンがある場合)運転スイッチ「入」「切」に関係なく凍結予防します。
＊給水・給湯配管や、給水元栓などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒーターを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。(わからないときは、販売店に確認してください)

■(リモコンがある場合のみ)低温注意報が発令されたときや冷え込みが厳しいときは、以下の処置をする

1 リモコンの 運 転 入/切 を「切」にする

2 ガス栓を閉める

3 おふろの給湯栓を開いて、少量の水(1分間に約400cc・・・太さ約4mm)を流したままにしておく

※サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は、最高温度の位置に設定する。

4 流量が不安定になることがあるので、約30分後に再度流れる量を確認する

＊機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。
＊結露現象予防として、運転スイッチ「切」の状態で給湯栓から水を出さないようにお願いしていますが(☞P8)、凍結予防の処置の場合は問題ありません。
＊サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓をお使いの場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。(やけど予防のため)
＊この処置をしても凍結するおそれのある場合には、P33の手順で水抜きをおこなってください。

凍結による破損を予防する-2

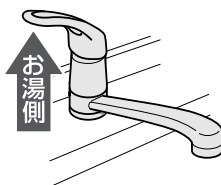
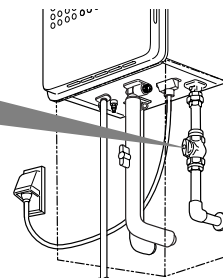
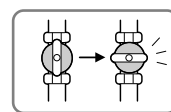
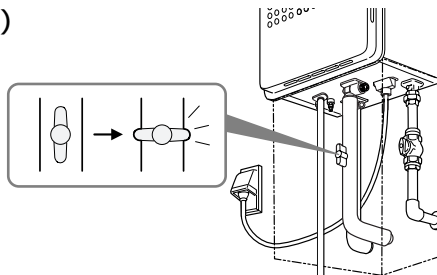
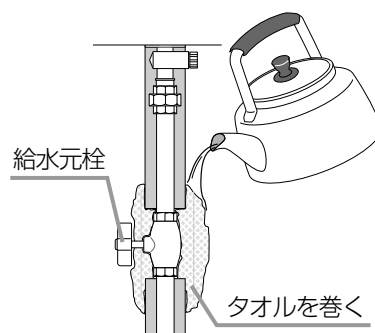
リモコンがある場合で 凍結してお湯(水)が出ないとき

■運転スイッチを「切」にする

＊「入」にしていると燃焼する場合があります。
＊気温の上昇により自然に解凍するまで待つことをおすすめします。

■すぐにお湯を使いたい場合は、以下の方法をお試しください

1 リモコンの 運転 入/切 ［　］ を「切」にする

2 台所などの給湯栓を少し開けておく

3 ガス栓を閉める

4 給水元栓を回してみる(閉めてみる)

■ 給水元栓が凍結して回らない場合
1)タオルを給水元栓のまわりに巻く。 2)**人肌程度(30〜40℃)のぬるま湯**を給水元栓に巻いたタオルにゆっくりかける。(床面などがぬれないように処置をする) **注意** ＊熱湯をかけると配管が破裂するおそれがあります。 ＊機器の電源プラグ、コード、電源コンセントにお湯がかからないように注意してください。 ＊ガス栓とまちがえないように注意してください。 給水元栓 タオルを巻く 3)給水元栓が回る(水が流れる音がする)ようになったら、給湯栓を閉める。 4)タオルを外し、給水元栓のまわりについた水を乾いた布でふき取る。 5)今後凍結しにくいようにするため、給水元栓まわりに保温材をかぶせるなどの処置をする。(わからないときは、販売店に確認してください)
■ 給水元栓が回るのに水が出ない場合
給水元栓を必ず閉め、気温の上昇により自然に解凍するのを待つか、販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください。

＊凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。機器の故障の原因となります。
＊給湯栓から水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認のうえ使用してください。

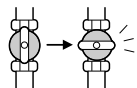
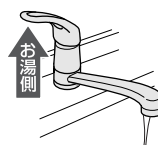
長期間使用しないときは、水抜きをしてください

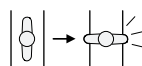
⚠注意	❗	機器の水抜きをする場合は、運転スイッチ「切」または、電源プラグを抜いて、機器が冷えてからおこなう

やけど予防のため。
お湯の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。

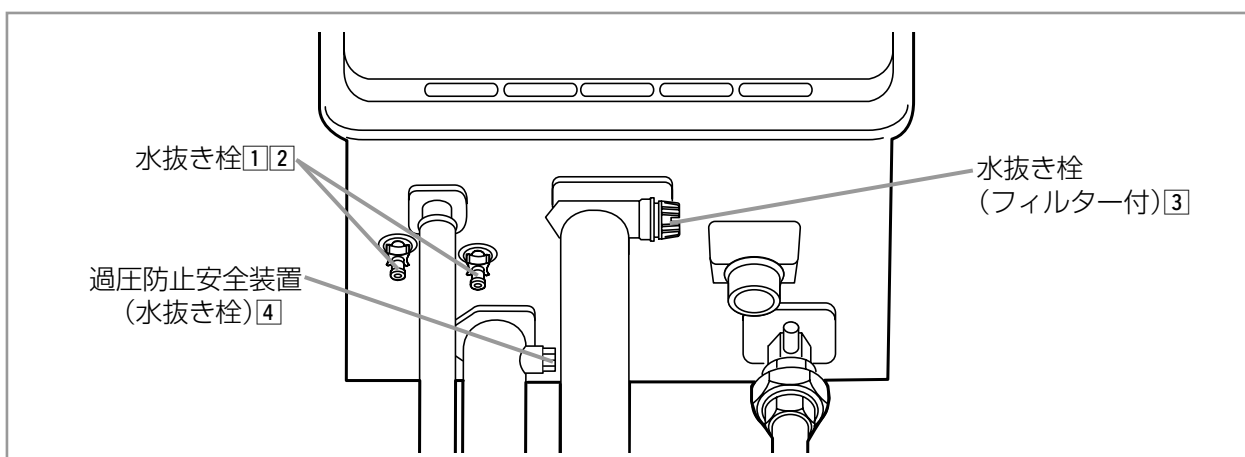
操作

準備 水抜き栓などからお湯または水が約1.5L出ますので、容器などで排水を受けてください

1 ガス栓を閉める

2 <リモコンがある場合> 運転 入/切 を「切」にする
<リモコンがない場合> いずれかの給湯栓を全開にする

3 <リモコンがある場合> 電源プラグを抜く
ぬれた手でさわらない
<リモコンがない場合> 2の操作より約2分以上経過後、電源プラグを抜く
ぬれた手でさわらない

4 給水元栓を閉める

5 すべての給湯栓を全開にする

6
1.水抜き栓1 2を左に回して外す
2.水抜き栓(フィルター付)3を左に回して開け、外す
3.過圧防止安全装置(水抜き栓)4を左に回して開け、外す

※ゆるめるだけでは充分に水が抜けません。必ず取り外してください。水抜き栓はなくさないように注意してください。

7 6の操作より10分以上経過後、完全に排水したことを確認し、すべての水抜き栓と過圧防止安全装置(水抜き栓)、およびすべての給湯栓を閉める

● 再使用のとき ●

1. すべての水抜き栓・過圧防止安全装置(水抜き栓)・すべての給湯栓が閉まっていることを確認する。
2. 給水元栓を開ける。
3. 給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉め、機器や配管から水漏れがないかよく確認する。
4. ガス栓を開け、電源プラグを電源コンセントに差し込む。

日常の点検・お手入れのしかた

注意	!	機器の点検・お手入れをする場合は、運転スイッチ「切」または、電源プラグを抜いて、機器が冷えてからおこなう
やけど予防のため。 お湯の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。		

点検（定期的に）

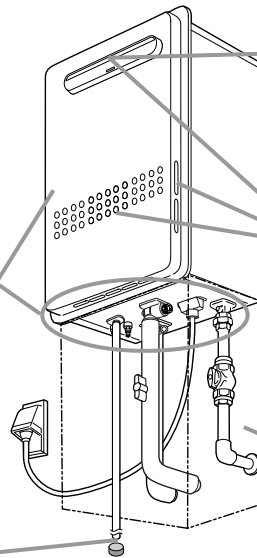
チェック 機器や排気口のまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすい物を置いていないか？

➡ 燃えやすい物を置かない。

チェック
＊機器外装に異常な変色はないか？
＊機器外装の下部周辺などにサビや穴開きはないか？
＊運転中に機器から異常音が聞こえないか？
＊機器・配管から水漏れはないか？

➡ 現象があった場合は、販売店または、もよりの東京ガスへ連絡する。

チェック
＊ドレン配管の先にゴミ詰まりなどがないか？
＊ドレン配管の先が水につかっていないか？

➡ ゴミなどは取り除く。

チェック 排気口にススがついていないか？

➡ ついていたら、販売店または、もよりの東京ガスへ連絡する。

チェック 排気口・給気口がホコリなどでふさがっていないか？

➡ ふさがっている場合は、掃除する。

チェック 【配管カバーまたは据置台がある場合】
配管カバーまたは据置台のフロントカバーにガタつきやゆるみはないか？

➡ ガタつきやゆるみがないよう、ネジをしっかりと締める。

お手入れ（定期的に）

● 機器本体 ●

＊機器本体の外装の汚れは、ぬれた布で落したあと充分水気をふきとってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。
＊海に近く潮風が当たりやすい地域の場合、潮風によって、機器本体および配管接続部にサビが発生する場合があります。サビがひどい場合は、機器本体内部への影響も考えられますので、点検（有料）をおすすめします。

● リモコン ●

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。

お願い	リモコンの掃除には、塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤などを使用しない
変形する場合があります。	

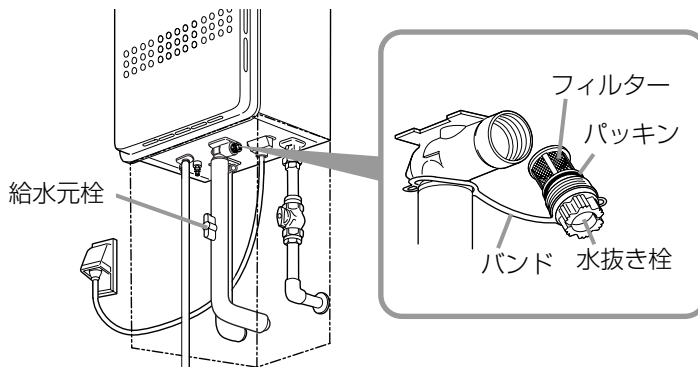
お願い	リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない、故意に水をかけない
炊飯器、電気ポットなどに注意。故障の原因になります。 防水型のリモコンでも、多量の水は故障の原因になります。	

● 水抜き栓のフィルター ●

水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まると、お湯の出が悪くなったりお湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。

※お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、運転スイッチ「切」または、電源プラグを抜いて機器が冷えてからおこなってください。（やけど予防のため）

※水抜き栓からお湯（水）が出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

1. 給水元栓を閉める。
2. すべての給湯栓を開ける。
3. 水抜き栓を左に回して外す。（※1）
4. 配管とつながっているバンドから外す。
5. フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。（※2）
6. 元どおりに水抜き栓を取り付ける。
7. すべての給湯栓を閉める。
8. 給水元栓を開け、水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する。

（※1）このとき水（湯）が出るので注意してください。
（※2）水抜き栓からフィルターが外れた場合は、水抜き栓とフィルターの間のパッキンをなくさないように注意してください。

● 定期点検のすすめ（有料） ●

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。販売店にご相談ください。

故障・異常かな？と思ったら-1

お湯（シャワー）を使うときに、おかしいな？と思ったら

? 給湯栓を開いてもお湯が出てこない

＊ 確認 ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？
＊ 確認 断水していませんか？
＊ 確認 給湯栓は充分開いていますか？
＊ 確認 ガスメーター（マイコンメーター）がガスを遮断していませんか？
＊ 確認 水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まっていませんか？（☞P35）
＊ 確認 凍結していませんか？
＊ 確認 【リモコンがある場合】運転スイッチは「切」になっていませんか？
＊ 確認 電源プラグが抜けていませんか？
＊【オートストップ機能（☞P20～21）を使ってお湯はりをした場合】お湯はりメロディが鳴った後、設定したお湯はり量以上にお湯が入るのを防ぐため、機器が自動的にお湯を止めます。このとき、他の給湯栓のお湯も止まります。（お湯を出すためには☞リモコン表示および音声に従って操作をしてください）

? 給湯栓を開いてもすぐお湯にならない

＊機器から給湯栓まで距離があるので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。

? 低温のお湯が出ない

＊ 確認 ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？
＊ 確認 【リモコンがある場合】給湯温度の設定は適切ですか？（☞P18）
＊夏場などの水温が高いときに低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなることがあります。
＊少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなることがあります。

? 高温のお湯が出ない

＊ 確認 ガス栓が全開になっていますか？
＊ 確認 【リモコンがある場合】給湯温度の設定は適切ですか？（☞P18）

? お湯の使用中に水になった（途中で火が消えた）

＊給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約3.5L以下になったとき消火します。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
＊夏場などの水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯にならないことがあります（自動的に燃焼を停止し高温のお湯にならないようにします）。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。

? 設定した給湯温度のお湯が出ない

＊お湯はり中に、台所やシャワーなどでお湯を使うと、ふろ温度のお湯が出ます。

? 給湯温度の調節ができない

＊ 確認 【台所リモコン・浴室リモコンの両方がある場合】操作しているリモコンが優先になっていますか？（☞P19）

? 給湯栓から出るお湯の量が変化する

＊お湯を使用中に、他の場所でお湯を使用すると、お湯の量が減る場合があり、水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、いったん止まる場合がありますが、しばらくすると安定します。
＊給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変化するものがあります。
＊お湯の温度を安定させるため、お湯の出初めは少なく出し、安定するとお湯をたくさん出すように機器側で制御します。

? 給湯栓から少量のお湯が出たり止まったりする

＊【オートストップ機能(☞P20～21)を使ってお湯はりをした場合】お湯はりメロディが鳴ってから約10分間は、機器が自動的に水を少量出したり止めたりして、給湯栓が閉まったかどうかを確認します。

? お湯が白く濁って見える

＊水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい泡となって出てくる現象で、無害なものです。

おふろに関して、おかしいな？と思ったら

? おふろのお湯がぬるい／おふろのお湯があつい

＊ 確認 ふろ温度の設定は適切ですか？(☞P22)
＊前日などの残り湯(水)があるときは、その分だけ設定したふろ温度よりぬるくなります。

? 設定したお湯はり湯量より、多くお湯はりされてしまう

＊残り湯(水)がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴槽に残っているお湯(水)の量だけ、設定したお湯はり湯量より多くなります。

? 設定したお湯はり湯量より、少なくお湯はりされてしまう

＊お湯はり中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、使用した分だけお湯はり湯量が少なくなります。

リモコンがおかしいな？と思ったら

? 運転ランプが点灯しない

＊ 確認 停電していませんか？
＊ 確認 電源プラグが差し込まれていますか？

? 時計表示が「0：00」になっている

＊停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電し、運転スイッチ「入」にすると時計表示が「0：00」になりますので、時計を合わせ直してください。

? 表示の節電の状態にならない

＊ 確認 表示の節電「する」に設定していますか？(☞P25)
＊給湯温度を60℃に設定している場合は、表示の節電はしません。

? リモコンの画面表示がいつのまにか消えている

＊機器を使用しないまま約10分(オートストップ機能でお湯はりをした場合、浴室リモコンでは約1時間)たつと画面表示が消えます。(☞P27)
再使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。

? リモコンの画面表示がいつのまにか流れるように動いている

＊表示の節電「しない」に設定した場合(☞P25)、機器を使用しないまま約10分(オートストップ機能でお湯はりをした場合、浴室リモコンでは約1時間)たつと、画面の焼付防止のため、画面の状態が変わります。(スクロール表示)(☞P27)
再使用したり、スイッチを押すと、スクロール表示を解除します。

(つづく)

故障・異常かな？と思ったら-2

＊ 確認 ：確認していただきたい事項です。

（つづき）

? スイッチを押しても、そのスイッチの動作をしない
（例）運転スイッチを押して「切」にしたはずなのに、切れていない　など・・・

＊表示の節電中は、１回押すと表示の節電を解除し、もう１回押すとそのスイッチの機能がはたらくスイッチと、1回押すだけでそのスイッチの機能がはたらくスイッチがあります。（☞P27）
運転スイッチ「入」「切」は、運転ランプの点灯・消灯で確認してください。

? 設定した湯量までお湯はりしても、お湯はりメロディが鳴らない／鳴るタイミングがずれている

＊次のような場合は、お湯はりメロディは鳴りません。
・リモコンの音量「なし」に設定している場合（☞P25）
・お湯はり中に、台所リモコンで優先を切り替えるため運転スイッチを「切」「入」した場合
＊設定した湯量分お湯が連続して出ると、お湯はりメロディが鳴るしくみになっています。
お湯はり中に台所やシャワーでお湯を使うと、設定した湯量になる前にお湯はりメロディが鳴ります。
＊サーモスタット付混合水栓の場合、水栓で水を混ぜるため、設定したお湯はり湯量より水の分だけ多いところでお湯はりメロディが鳴ります。

? お湯はり完了後、お湯はりランプが消灯しない

＊【オートストップ機能（☞P20～21）を使ってお湯はりをした場合】お湯はりメロディが鳴ったあと10分以内に、お湯を使っていたすべての給湯栓を閉じれば、お湯はりランプは消灯します。10分たってお湯が出なくなり、お湯はりランプが点灯している場合は、リモコン表示および音声に従って操作をしてください。

機器がおかしいな？と思ったら

? 使用中に消火した

＊ 確認 ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？
＊ 確認 断水していませんか？
＊ 確認 給湯栓は充分開いていますか？
＊ 確認 ガスメーター（マイコンメーター）がガスを遮断していませんか？

? 運転を停止しても、しばらくの間ファンの回転音（ブーン）がする
運転スイッチを「入」「切」したとき、給湯栓を開閉したとき、給湯温度を変更したときなどに、モータが動く音（ウィンウィン）がする

＊再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。

? 排気口から湯気が出る

＊二次熱交換器で熱を回収された燃焼ガスは、熱を奪われるため温度が低く、また多くの水分を含んでいます。このため、外気に触れると結露し、白い湯気に見えます。

? ドレン配管から頻繁に排水する

＊機器内に発生した結露水をドレン配管から排出します。（最大100cc/分程度）

? 過圧防止安全装置（水抜き栓）から、お湯（水）が少しの間出ることがある

＊機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきにより、過圧防止安全装置（水抜き栓）から水滴が落ちることがあります。

? 水が青く見える／浴槽や洗面台が青く変色した

＊水中に含まれる微量の銅イオンと脂肪分（湯あか）により青く着色することがありますが、 健康上問題ありません。浴槽や洗面台をこまめに掃除することにより、着色しにくくなります。

リモコンに故障表示が出ているときは

不具合が生じたとき、時計表示部に故障表示が点滅します。
下表に応じた処置をしてください。
（お客さまで対処できるもののみ記載しています）

＜表示例＞

故障表示	原　因	処　置
01	給湯を連続60分以上運転したため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん｢切｣にし、再度｢入｣にして使用してください。
11	点火エラーが生じたため	運転スイッチを｢切｣にし、ガス栓が開いているか、ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断していないかを確認して、問題があれば処置してください。 その後運転スイッチを｢入｣にし、給湯栓を開いて表示が出なければ正常です。
29	中和器の詰まり	販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください。
92	中和器の交換が必要です （中和器の寿命です）	しばらくは機器を使用できますが、能力が低下します。 販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください。
93	中和器の交換が必要です （中和器の寿命です）	機器が使用できません。 販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください。

● 以下の場合は、販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください ●

＊上記以外の表示が出るとき
＊上記の処置をしてもなお表示がくりかえし出るとき
＊その他、わからないとき

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

P36～39の「故障・異常かな？と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください。

● 連絡していただきたい内容 ●

品名 ……………………機器正面に貼り付けてある銘板または、下記の方法でリモコンでお調べください
お買い上げ日 ……………保証書をご覧ください
異常の状況 ………………故障表示など、できるだけくわしく
ご住所・ご氏名・電話番号
訪問ご希望日

※作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスをお断りすることがあります。（工事店にご相談ください）

● 型式名の調べかた ●

	操作	操作後の画面	お知らせ
1	運転 入/切 を「切」にする		
2	▲ を右の表示が出るまで（約2秒間）押す	キシュコード [ ] －品名－ ＜品名表示画面例＞	＊台所リモコン・浴室リモコンともに表示は共通です。 ＊約1分そのままにすると、元の表示に戻ります。

保証について

取扱説明書の最終ページに保証書がついています。
必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10年です。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで機器を移設されるときは、機器(銘板)に表示してあるガスの種類・電源(電圧)が移設先と合っているか必ずご確認ください。
不明のときは、移設先のガス事業者・販売店または、もよりの東京ガスにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設されるときは、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。
※ガスの種類によっては改造・調整ができない場合があります。

その他

BL認定品には、機器の前面にBLマークを表示しています。
BL認定品は、「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付」です。
(財)ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

主な仕様

仕　様　表

24号		
品名		NR-S524RFW
型式名		GQ-C2432WX
種類	給湯方式	先止め式
	設置方式	屋外設置形
点火方式		放電点火式
水圧	使用水圧〈MPa〉	0.1～1.0(1.0～10.0kgf/cm^2) ＜推奨水圧約0.15～0.5 (約1.5～5.0kgf/cm^2)＞
	作動水圧〈kPa〉	10(0.1kgf/cm^2)
最低作動流量〈L/分〉		3.5
外形寸法〈mm〉		高さ600×幅350×奥行260
質量〈kg〉		26
接続口径	給湯	R3/4
	給水	R3/4
	ガス	R1/2
	排水(ドレン排出口)	R1/2
電気関係	電源	AC100V(50/60Hz)
	消費電力(50/60Hz)〈W〉	50/50 凍結予防ヒーター 197
	待機時消費電力〈W〉	2.5
湯温制御方式		電子式ガス比例制御方式
安全装置		立消え安全装置、残火安全装置、空だき防止装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置、誘導雷保護装置、中和器詰まり検出装置

20号		
品名		NR-S520RFW
型式名		GQ-C2032WX
種類	給湯方式	先止め式
	設置方式	屋外設置形
点火方式		放電点火式
水圧	使用水圧〈MPa〉	0.1～1.0(1.0～10.0kgf/cm^2) ＜推奨水圧約0.15～0.5 (約1.5～5.0kgf/cm^2)＞
	作動水圧〈kPa〉	10(0.1kgf/cm^2)
最低作動流量〈L/分〉		3.5
外形寸法〈mm〉		高さ600×幅350×奥行260
質量〈kg〉		26
接続口径	給湯	R1/2
	給水	R1/2
	ガス	R1/2
	排水(ドレン排出口)	R1/2
電気関係	電源	AC100V(50/60Hz)
	消費電力(50/60Hz)〈W〉	43/43 凍結予防ヒーター 197
	待機時消費電力〈W〉	2.5
湯温制御方式		電子式ガス比例制御方式
安全装置		立消え安全装置、残火安全装置、空だき防止装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置、誘導雷保護装置、中和器詰まり検出装置

・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
・出湯能力は湯水混合の計算値です。
　但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

能　力　表

※品名は仕様表を参照してください。

24号	型式名	GQ-C2432WX

使用ガス		1時間当りのガス消費量（最大消費量）〈kW〉	出湯能力(最大時)〈L/分〉	
			水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス	13A	44.2	24	15
	12A	41.1	22.5	14

20号	型式名	GQ-C2032WX

使用ガス		1時間当りのガス消費量（最大消費量）〈kW〉	出湯能力(最大時)〈L/分〉	
			水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス	13A	36.7	20	12.5
	12A	34.1	18.5	11.5

保　証　書

品　名	高効率ガス給湯器（潜熱回収型） NR-S524RFW　　NR-S520RFW
型式名	GQ-C2432WX　　GQ-C2032WX

上記本体をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は、東京ガス供給区域内において、都市ガスにてご使用になる場合に、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

1．保証期間は、お買い上げの日から2年間とし、本体(リモコン含む)を対象にします。なお、下記部品については、別途以下の年数を保証いたします。
　電装基板・リモコン(電装基板に起因する故障のみ)・・・・・・・・・・・・・　3年
　熱交換器・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3年
2．万一故障の場合は、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお申し出ください。原則として、出張修理いたします。
3．サービス員がお伺いした時に、本証書をご提示下さい。
4．保証期間内においても、次の場合は有償修理といたします。
（1） 住宅用途以外でご使用になる場合の不具合
（2） 取扱説明書等の記載事項によらないでご使用した場合の不具合
（3） 器具を調整、改造された場合の不具合(但し、当社都合の場合はのぞきます)
（4） お買い上げ後、取付場所の移動、落下等による不具合
（5） 建築躯体の変形等器具本体以外に起因する当該器具の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
（6） 強い腐食性の空気環境に起因する不具合
（7） 犬、猫、ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
（8） 火災や凍結、落雷、地震、噴火、洪水、津波等の天変地異または戦争、暴動等の破壊行為による不具合
（9） 電気、給水の供給トラブル等に起因する不具合
（10）指定規格以外のガス、電気または熱媒等をご使用したことに起因する不具合
（11）給水・給湯配管などの錆び等異物流入に起因する不具合
（12）温泉水、井戸水等を給水したことに起因する不具合
（13）本保証書を紛失された場合
5．無料修理やアフターサービス等についてご不明な場合はお買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお問い合わせ下さい。

保証履行者　東京ガス株式会社　〒105−8527　東京都港区海岸1丁目5番20号

保証責任者　株式会社ノーリツ　〒650−0033　神戸市中央区江戸町93番地

■お買い上げ日および販売店名

お買い上げ日	平成　　年　　月　　日

販　売　店		扱者印	
住　　所			
電話番号			

■修理記録

この本体の修理記録用紙は、本体の内側にあります。

■お客さまへ

1．この保証書をお受け取りになる時に販売年月日、販売店、扱者印が記入してあることを確認してください。
2．本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
3．無料修理期間経過後の故障修理等につきましては「アフターサービス」の項をご覧ください。
4．この保証書によって保証書を発行している者(保証履行者・保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。